

## 令和4年度 兵庫県神戸北高等学校 学校評価(全体資料)

※すべての質問において4段階(4点満点)で評価 (4点:A よくできている、3点:B おおむねできている、2点:C あまりできていない、1点:D できていない)

領域	項目	内 容	令和3年度 全体 平均	令和4年度				総 括 アンケート結果より
				全体 平均	教員 平均	生徒 平均	保護者 平均	
学校運営	学校情報の発信	① 学校は、学年だより、北高メール、配付物、ホームページなどで学校行事の案内や生徒の様子、各種情報を伝えることができていますか。	3.2	<b>3.2</b>	<b>3.2</b>	<b>3.3</b>	<b>3.0</b>	昨年度の課題を踏まえて、今年度は学校HPの内容を改善しました。次年度は、各種広報についての内容をさらに充実させていく。
	保護者との連携	② 学校は、保護者会、三者面談の開催、また必要に応じて連絡、連携対応ができますか。	3.3	<b>3.3</b>	<b>3.5</b>	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	定期的な学年だより、北高だよりの発行、三者面談及び必要に応じて家庭訪問等も実施している。今後も、保護者との連携を強固にして生徒の成長を組織的に見守る体制を構築していく。
	指導方法の工夫・改善	③ 学校は、挨拶励行、校門指導、頭髪・服装指導週間等、日頃からの生徒指導を通して、生徒の身だしなみ等の規律向上ができますか。	3.2	<b>3.2</b>	<b>3.1</b>	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	定期的な校門指導、服装・頭髪指導により生徒の身だしなみ等における生徒指導は減少している。今後は、電車通学マナー等やSNSにおけるトラブル等の課題解決を徹底していく。
	学校の組織対応	④ 学校は、各部、学年、係、担当と報告・連絡・相談の連携ができますか。	2.7	<b>3.1</b>	<b>3.1</b>			各学年、各部、各種委員会の連携の活性化が今年度の課題であった。次年度に向けて、組織の改編もふくめて引き続き取り組んでいく。
	働き方改革	⑤ 学校は、働き方改革を実践できていますか。	2.2	<b>2.1</b>	<b>2.1</b>			今年度、従事時間申告書は全教職員より提出され、勤務時間の実態が明確となった。定時退勤、定期的な年次休暇の取得等、働き方改革の実践については本校の喫緊の課題である。
教育課程	わかる授業の実践	⑥ 教員は、わかる授業の実践に向けてタブレット等のICT機器の活用やリモート授業等、内容や進み方に工夫や改善をすることができていますか。	3.2	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	効果的な教職員研修を研究授業等と関連付けながら、定期的に実施・検証してきた。今後、ICT機器の活用を含めた授業改善等、教職員全体のスキルアップを一層進めていく。
	課題・補習の実践	⑦ 教員は、課題の設定、平常補習の実施等、実状に応じた取組ができますか。	3.3	<b>3.2</b>	<b>3.3</b>	<b>3.2</b>	<b>3.2</b>	各教科でそれぞれ週末課題や定期補習等を実践している。今後の本校の課題は、家庭学習の習慣化である。
	家庭学習の習慣化	⑧ 生徒は、宿題や週末課題、受験勉強等の家庭学習(毎日最低1時間以上)の習慣ができますか。	2.3	<b>2.5</b>	<b>2.3</b>	<b>2.6</b>	<b>2.6</b>	生徒への家庭学習の定着化を図るため、週末課題や様々な補習等で進路意識の改革を推進しており、生徒の意識は向上している。ICT機器の活用等、まだ課題は多い。
	主体的深い学びへの取組	⑨ 生徒は、授業中、主体的・積極的に活動すること(考える、発表する等)ができますか。	2.7	<b>2.9</b>	<b>2.8</b>	<b>2.9</b>	<b>2.9</b>	新型コロナウイルス感染防止等の実情を踏まえグループワークやペアワーク等を控え、タブレットの活用等、生徒の主体性を育んだ授業を実践している。今後は新学習指導要領を見据えた計画を立案、推進していく。
	キャリア教育の充実	⑩ 学校は、生徒の将来を見据えたキャリア教育を実践できますか。	3.0	<b>3.3</b>	<b>3.3</b>			キャリア教育においては、総合的な探究の時間、進路指導部、各学年等でそれぞれ計画的に推進している。今後は組織連携した実効性のあるものにとりまとめていく必要がある。
学校課題	校内美化の徹底	⑪ 学校は、校内清掃等、校内美化の徹底ができますか。	2.9	<b>3.0</b>	<b>2.9</b>	<b>3.0</b>	<b>3.1</b>	校内外の清掃活動も含め、生徒にとってより安全で快適な環境の管理と整備を進める。
	特別活動の充実	⑫ 生徒は、学校行事、課外活動(ボランティアを含む)等に意欲的に参加できますか。	3.1	<b>3.1</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	<b>3.1</b>	今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染防止対策のため十分な学校行事、部活動等が実施できていない。次年度、状況に応じてそれらの活性化に取り組んでいく。
	部活動の充実	⑬ 教員は、部活動の練習日程、指導方法、健康管理(ノーテーブルの活用)、事業・決算報告等、運営に関する連絡・説明はできますか。	3.2	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	部活動の月間練習計画表等の作成は全部活動で実施されている。今度は、活動内容の向上、学業との両立、事故の未然防止等、生徒及び保護者への理解・協力を徹底していく。
	丁寧な対応	⑭ 教師は、生徒の内面を理解した声かけやアドバイス、励まし等、丁寧な対応ができますか。	3.1	<b>3.1</b>	<b>3.3</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	教職員は、グラス、部活動等で生徒に対して個々に声かけや相談に応じている。今後は、定期的な面談週間の実施、窓口の設置等を検討し、教育相談(スクール・カウンセリング)も含め、相談しやすい環境の整備を推進する。
	教育相談の充実	⑮ 学校は、気軽に相談できる存在ですか。	2.8	<b>2.8</b>	<b>2.9</b>	<b>2.8</b>	<b>2.9</b>	今年度、保護者から生徒対応や教職員の接遇に対しての苦情が何件かあった。次年度、生徒、保護者に十分理解される対応を徹底していく。
兵庫県資質向上指標	兵庫県が求める教員としての素养	⑯ 教育に対する情熱・使命感を持ち、生徒に愛情をもって接することができます。	3.3	<b>3.4</b>	<b>3.4</b>			全教職員に対して担当教科、分掌及び部活動等で生徒に対して丁寧での確な助言及び指導をするよう指示している。
		⑰ 教養、社会性、コミュニケーション力、想像力等、総合的な人間性を高めることができます。	3.2	<b>3.2</b>	<b>3.2</b>			全教職員に対して担当教科、分掌及び部活動等における研究を実施し、職員研修等で報告するよう指示している。
		⑱ 高い倫理観と規範意識をもち、自らの人権感覚を高めることができます。	3.2	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>			全教職員に対して学期初め、終了時において服務規律を確認し、倫理観と規範意識の向上を図り、人権感覚を高めるよう指示している。
		⑲ 生徒、保護者や地域の方々と公正・公平な立場で対応することができます。	3.1	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>			全教職員に生徒・保護者及び地域の方々に対しては丁寧での確な対応をするよう指示している。
		⑳ 常に学び続ける姿勢をもち、新たな課題へ挑戦することができます。	3.2	<b>3.2</b>	<b>3.2</b>			全教職員に対して常に学び続ける姿勢をもち、教育者としての資質向上を図るよう指示している。
			平均	3.0/4	<b>3.0/4</b>	<b>3.0/4</b>	<b>3.1/4</b>	<b>3.0/4</b>